

令和元年度(2019年度)第1回 豊中市保健医療審議会 議事録

1. 日 時 令和元年9月4日(水)14時00分～16時00分
2. 場 所 豊中市役所 2階大会議室
3. 案 件 (1)保健所各課 平成30年度事業実施報告および令和元年度事業実施状況
(2)豊中市健康づくり計画年次報告について
(3)「豊中市健康医療戦略方針」策定について
(4)その他

4. 出席者 (敬称略)

(1)委員(名簿順):16名

会 長 内藤 義彦(武庫川女子大学)
副会長 地 寄 剛史((一社)豊中市医師会)
委 員 横山 美江(大阪市立大学大学院)
岡本 千加((一社)大阪府助産師会)
真鍋 哲也((一社)豊中市歯科医師会)
芦田 康宏((一社)豊中市薬剤師会)
高橋 多美男((社福)豊中市社会福祉協議会)
川本 年男(豊中公衆衛生協力会)
西村 栄一(豊中市民生・児童委員協議会連合会)
山西 洋一(豊中商工会議所)
古川 悦子(豊中市健康づくり推進員会)
前田 雄治(豊中市老人クラブ連合会)
齊藤 健文(連合大阪北大阪地域協議会豊中地区協議会)
東 久美子(市民委員)
堀 道子(池田子ども家庭センター)
吉川 秀樹(市立豊中病院)

(2)関係者出席:1名

吉井 伸太郎(豊中警察署)

(3)傍聴者:1名

議事概要

- 開会 午後 2 時 0 0 分
- 資料の確認
- 部長あいさつ

■ 委員紹介および成立要件の確認

事務局	(資料確認) (司会交代)
会長	委員および事務局の紹介と委員の出席状況について報告を。
事務局	■ 委員紹介（委員名簿参照） 新たに豊中病院総長吉川委員にご就任いただいた。同じく新たにご就任いただいた豊中警察署長東委員からはご欠席の連絡をいただいている。 ■ 成立要件の確認 委員数 19 名のうち、16 名が出席しているため当審議会で定める委員定数の過半数を超えており、成立要件を満たしている。

■ 案件(1)保健所各課 平成 30 年度事業実施報告および令和元年度事業実施状況

■ 事務局から各課事業等の説明

副会長	母子保健課と保健予防課の連携はどのように進めているのか。
事務局	災害時に医療ケアの必要なお子さんが大人になってプランが変わることがないように、連携して支援をしている。
副会長	健康医療部として独立したメリットは。
事務局	10 月から健康マイレージ事業、スマホアプリを活用したアスマイル事業が本格稼働するが保険給付課だけでなく、健康政策課もかかわり、一緒に事務局として検討している。
委員	死産が増加傾向にあるが、要因はどこにあるのか。

事務局	妊婦が若年、高齢と二極化している。妊娠期から妊婦を支援している中で、死産もしくは流産される方もおられ、高齢化が一因であると推測しているが、原因の詳細は精査できていない。
委員	豊中市は妊婦健診費用助成も進んでおり、妊婦健診を充実しながら、一人でも多くの方が健康に生まれてくるように、しっかりとした要因の調査をお願いしたい。
委員	豊中まつりに、保健所のPRコーナーを出展する考えはないのか。
事務局	豊中まつりについては、事前の段階から衛生指導に重点を置いているので、当日の出展は難しい。
委員	豊中駅前での梅毒やHIV検査の横断幕が目につき、いい効果だなと感じた。保健所として色々取り組みを進めていると感じる。
事務局	豊中市保健所では公式のツイッター、SNSによる情報発信に心がけている。 猫避妊・去勢についても、今年度クラウドファンディング事業を実施し、補助金に対する募金を開始した。すでに目標額を達成している。
会長	クラウドファンディングは、今まで実施している自治体はあまりなく、結構珍しいのではないかと。
事務局	豊中市としても、クラウドファンディング事業は初めてである。
会長	関心のある市民が貢献する場としては、一つの新しいやり方であり、他にも色々なところで検討してほしい。 豊中市保健所のツイッターで、見ている方のトレンドはどのようになっているのか。
事務局	色々なデータ分析を行っており、次回の審議会で詳細を報告する。
会長	組織図を見ていると医療という言葉がない。以前は保健医療課があったが、どの課が担当するのか。

事務局	従来の保健医療課が担っていた地域医療構想や医療監視、病院・診療所との連絡調整は、健康政策課医薬安全係が担っている。 ただ、健康医療部内の課は全て医療との結びつきがあるので、三師会や各関係団体の方と調整しながら施策展開をしていきたい。
委員	思春期の子供の自殺について、教育委員会や学校との連携が重要かと思うが、その辺はどのようにしているのか。 児童虐待予防の啓発として、啓発資材を住民に配布などしているのか。
事務局	メンタルヘルス対策会議の子供・若者部会に、教育センターや医療系の方に参画いただいているとともに、中学校での「いのちの授業」や、関係者向けへのメンタルヘルスに関連する授業も実施している。
事務局	市民並びに支援者向けの児童虐待啓発資材をつくる予定である。 若い世代向けには、スマートフォンで簡単に見られる、分かりやすいものをつくっていききたい。 また、今後は子どもの支援にかかわる要保護児童対策地域協議会の関連機関とも一緒に研修など行っていききたい。

■案件(2) 豊中市健康づくり計画年次報告について

■事務局から説明

副会長	自己評価の方法はどのように行っているのか。業務担当者を評価者に含めないほうが、正確な評価になるのでは。
事務局	庁内関係部局の実務担当者会議により評価を行っている。必ずしも、業務担当者が評価に加わっているわけではない
会長	生活習慣を中心に評価しているが、高血圧・糖尿病などの疾病への対策は何か行っているのか。
事務局	体育の日のイベントでの血糖値測定、体力測定などの市民啓発を行っている。
事務局	疾病の説明などの医療部分については、今後力を入れていきたい。
委員	計画の2022年度目標値については、見直しはあるのか
事務局	中間見直しの際に、改めて目標値については変更している。

■案件(3) 「豊中市健康医療戦略方針」策定について

■事務局から説明

委員	健康寿命はほとんど平均寿命と同じ定義になるかと思うが、それでいいのか。
事務局	健康寿命の定義は、国民生活基礎調査のアンケート調査に基づいているが、市町村での比較が難しくなるので、本市では要介護度を用いている。 そのため、健康寿命と平均寿命の差は、男性 1.5 歳、女性 3 歳ぐらいとなる。本編を作成する際に、もう少しわかりやすく説明を記入していきたい。
委員	熱中症に対する対策は。
事務局	方針の各論に熱中症も含めた疾病予防について、記載する予定である。 熱中症対策としては、ホームページやツイッターで周知啓発を行っているとともに、チラシや啓発物品の配付を行っている。
委員	もう少し声を上げ、何か大きなプロジェクトを行ってはどうか。
委員	戦略方針の骨子案に、「本市の高齢者人口はさらに増加すると見込まれているため、健康寿命を延伸します。」となっているが、保健部門や福祉職との協働が必要なのではないか。また、他の職種の方とも協働していく必要があるのでは。
事務局	介護予防と保健事業の一体化などの推進のためには、福祉部や国民健康保険担当課との連携も、さらに進めていく必要があると考えている。 戦略方針本文には、介護予防・がん対策・認知症・他部署との連携などのキーワードも含めて盛り込んでいきたい。
会長	・専門職だけでなく、市民の方と一緒にという切り口を出せないか。 ・中核市には保健所と保健センターがあり、幅広く体制がとれることが強みとなるが、そのことが「保健所機能の活用」だけでいいのか。 ・医療保険についての記載が足りないと思うので、アスマイルのことなどを活用してはどうか。 ・国民健康保険の医療データを活用してはどうか。 ・骨子案については、建設的なアイデア等がある場合は、どのように伝えればよいか。

事務局	9 月 13 日までに、ご意見があれば頂戴したい。
-----	---------------------------

■案件(4) その他

事務局	次回の審議会は来年 2 月を予定している。
-----	-----------------------

■閉会 午後 4 時 0 0 分